



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年1月23日

第69号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

過去 現在 そしてこれから～小中一貫教育の新たな意義を問う

～大麻東中学校区「第20回小中一貫教育全国サミットin呉」の視察報告～

大麻東中学校区の4名の先生方が、10月2日（木）～3日（金）に開催された「第20回小中一貫教育全国サミットin呉」の研究大会に参加し、先進地域の取組について研修してきました。

■研修報告の概要■

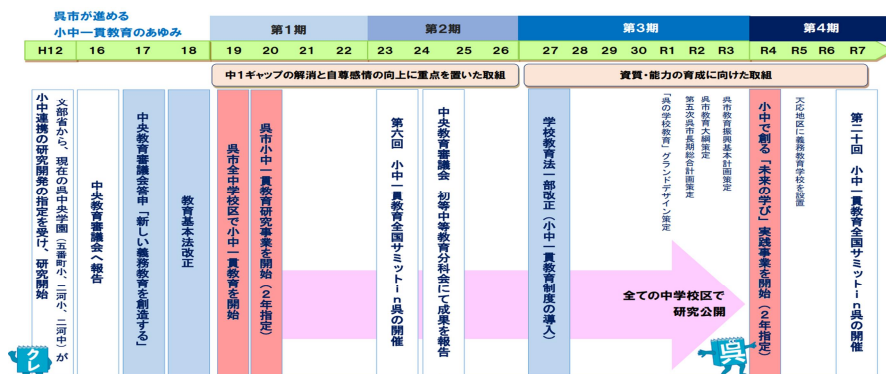
広島県呉市では、平成12年度に、全国に先駆けて小中一貫教育の研究をスタートさせ、平成19年度からは全ての中学校区で小中一貫教育を実施しています。「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」を主なねらいとし、第1期、第2期では、授業だけではなく行事や活動など、全ての教育活動において小中一貫した実践・研究を進めてきました。続く第3期では、学習指導要領の改訂を受けて、資質能力の育成をねらいとした一貫教育の実践・研究を進めるとともに、地域に根ざした各中学校区の特色ある取組の充実と普及を図ってきています。さらに第4期では、学校や地域の実態に応じて焦点化した研究を進め、合わせてコミュニティ・スクールも市内全域で展開しています。

【各中学校区の主な取組】

- 中学校区で育成を目指す資質能力の設定～中学校区の児童生徒や地域の実態に応じて、育成を目指す資質・能力を設定し、目指す生徒の姿を小・中で共有している。
- 「カリキュラムマップ」の作成 ～各中学校区や地域の特性を生かし、生活科・総合的な学習の時間を柱としながら、各教科等における学びと「地域の人・もの・こと」とのつながりを重視した「カリキュラムマップ」を作成している。
- 小中合同研修の実施～授業だけでなく、生徒指導上の課題や、個に応じた支援などの交流を行っている。

【中学校区の特色を生かした主な実践】

- 乗り入れ授業 ○陸上記録会練習～中学陸上部が小学生へのアドバイス
- クリーン活動～小中、地域の方との清掃活動 ○合同避難訓練
- 幼保小交流会～小1が園児に学習したことを説明 ○いじめ撲滅挨拶運動
- 不登校生徒等を対象にしたSSR（スペシャルサポートルーム）の設置
- 中高連携～高校教諭による中学校への出前授業



平成12年からスタートした呉市の小中一貫教育



研修に参加した先生方 他

これらの実践を通して、「学校や地域の実態に応じた小中一貫教育を、計画的、継続的、組織的に行うことにより、児童生徒の自尊感情の向上や地域貢献の高まりが図られている。」
「小中一貫教育の視点を、小・中の教職員が共有することにより、児童生徒と教師がつながり、『学校が楽しい』『いつでも相談できる』と感じられる『安全・安心な学校づくり』につながっている。」等の成果があがっています。

尚、詳しい研修報告は、2月に開催予定の「第2回小中一貫教育担当者会議」の中で行っていただく予定です。

中学校区の挨拶の輪を広げるために ～第三中学校区 生徒会と児童会による挨拶運動～

第三中学校区で生徒会が中心となった小中合同の挨拶運動が行われました。第一小といずみ野小には、生徒会が出向き、登校してくる小学生に「おはようございます」と元気よく挨拶をしました。北光小は、学校間の距離があるため、オンラインで結んで挨拶運動を行いました。第三中学校区では、部活動体験や小中合同新体力テスト、入学説明会等の際に中学生が体験メニューや説明内容等を考え、小学生を温かく迎えたり、励ましたりしています。今回の挨拶運動も、中学校生徒会が主体的に考え、実現させた取組です。小中一貫教育で展開する「相乗的・補完的な指導」の実践は、小学生の中1ギャップの緩和や進学への意欲を高めることが主なねらいとなりますが、合わせて中学生の自己肯定感・自己有用感の高揚にもつながるものです。また、中学生の活動のおかげで充実した体験をすることができた小学生は、やがて中学生になり、自分たちがしてもらったことと同じように、後輩たちのために一生懸命頑張ることになります。こうして、小中一貫教育の取組を通じた中学校区の新たな伝統が築かれていきます。



いずみ野小での挨拶運動の様子

目指す子ども像を共有し、共に進む小中一貫教育 ～第一・第三中学校区 合同研修会～

冬休み中に第一中学校区と第三中学校区の先生方が一堂に会し、合同研修会を開催しました。前段は12の教科部会、後段は4つの特別部会に分かれて今年度の実践の評価と次年度の重点取組等について、討議の柱に沿って熱心に協議が行われました。合同研修会は、先生方がお互いに顔を合わせて話し合うことで成果と課題が明確になり、共通理解がより図られていきます。



総合・キャリア教育部会の様子

児童生徒の様子や教育活動の中間評価について意見交換 ～えべつ型コミュニティ・スクール 学校運営委員会～

市内各校では、8月～12月の間に今年度2回目の学校運営委員会が開催されました。今回の委員会では、授業参観や教育活動に関する説明、中間評価に対する熟議等が行われ、今後の学校運営の参考となる貴重なご意見等をいただきました。えべつ型コミュニティ・スクール（CS）では、委員の方々が熟議や意見交換を通して学校運営に参画し、「考える」CSとしての役割を果たしています。



豊幌小 CS 熟議の様子



江陽中 CS 熟議の様子



いずみ野小 CS 体験展示の視察